

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日 時	令和7年9月26日 自 15時00分 至 16時08分
場 所	第二庁舎2階北会議室
出 席 委 員	教 育 長 山 本 俊 介 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	高 橋 憲 司 委員
会議録署名委員	岡 田 秀 樹 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 飯 塚 菜 摘
事 務 局 職 員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 学 校 教 育 課 長 三 橋 大 輔 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 岡 崎 一 樹 総 務 企 画 課 主 任 主 事 飯 塚 菜 摘
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（山本教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（岡田 秀樹 委員）
3 会議録の承認
（山本教育長） 第9回定例教育委員会（令和7年8月20日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（山本教育長） 最初に、先日閉会しました第15回市議会定例会の9月9日の議案審議で、「苫小牧市教育委員会委員の任命について」、斉藤智子委員が令和7年11月21日をもって任期満了となるため、再び、斉藤智子氏を任命したい旨の提案に対し、議会の同意が得られましたので、ご報告申し上げます。これにより、令和11年11月まで委員任期が更新されることになりました。
ここで、齋藤委員から3期目の抱負をお願いしたいと思います。
（齋藤委員） ありがとうございます。まず初めに、1期目、2期目と委員をこれまで務めることができたことに対しまして、山本教育長をはじめ、歴代の教育長や教育委員の皆様、また事務局の皆様や学校関係を始めとする関係者の皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

<p>今回再び議会で承認をしていただきまして、今まで以上に責任の重さをひしひしと</p>
<p>感じています。私が初めて教育委員となった時代から比べて、人々の価値観や社会情</p>
<p>勢がとても速いスピードで変化を遂げ、教育行政の分野においても大事なことを守り</p>
<p>つつ、時代に即した柔軟な姿勢が求められていると感じています。私自身も固定の価</p>
<p>値観にとらわれることなく常にアップデートに励み、未熟ながらも皆様のお力になり</p>
<p>ますよう3期目も務めたいと思います。今後とも皆様どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>（山本教育長） ありがとうございます。今後もよろしく願い申し上げます。</p>
<p>それでは、8月20日開催の第9回定例教育委員会以降の主な動きなどについて報</p>
<p>告をさせていただきます。</p>
<p>8月21日、22日に稚内市で開催された「令和7年度北海道都市教育委員会連絡</p>
<p>協議会定期総会」への出席、委員の皆さん大変お疲れ様でした。後ほど、分散会での</p>
<p>様子などについて、各委員さんからコメントをいただきたいと思います。</p>
<p>次に、9月2日、胆振教育局による「公立小中学校教職員人事推進会議・胆振管内</p>
<p>女性教職員活躍推進会議」がオンライン会議で開催され、出席いたしました。その中</p>
<p>で、管理職候補者等育成や女性教職員活躍推進への取組についての議題がありました。</p>
<p>この管理職候補育成、女性管理職の登用という課題は、おそらくどの分野、職種でも</p>
<p>共通の課題だと思いますが、教育現場においても注力していかなければならない課題</p>
<p>であると再認識したところでございます。</p>
<p>次に、9月4日から12日までの会期で第15回市議会定例会が開催されました。</p>
<p>今議会は9人の議員から全国学力・学習状況調査の結果、部活動地域展開、学校規模</p>
<p>適正化、不登校対策など教育関連の質問を受けました。学力検査については、本市の</p>
<p>結果が全国平均を下回っていることが議員としても気掛かりの様子であり、算数・数</p>
<p>学に加えて国語に特化した改善ポイントを示していくこと、部活動地域展開は、指導</p>
<p>者の確保に努めていくこと、不登校対策は校内教育支援センター、校外の教育支援セ</p>
<p>ンターの充実と不登校対策支援員の配置など、環境整備に努めていくことなどを答弁</p>

<p>しました。また、今議会は7月30日の津波警報避難に関する質問も多数ありました。</p>
<p>小中学校が避難所指定となっていることから、様々な課題が浮き彫りになった避難でありましたが、今後の対応について、市教委としてもしっかり検討していきたいと考えております。</p>
<p>そして、9月5日には新聞報道もありましたが、北洋銀行、北海道銀行、苫小牧信用金庫、北陸銀行の市内金融機関4行の方々による市長表敬訪問があり、同席してまいりました。内容は金融経済教育に関してですが、今年度は、市内小学校8校、中学校1校で金融教育が実施されることとなります。5月に「北海道金融経済教育推進協議会」が新たに立ち上がり、金融庁が関わり設立された「金融経済教育推進機構」と歩調を合わせた内容で、地域や年代ごとに求められる要請に幅広く対応した教育を届けることを目的としているとのことです。昨今は、キャッシュレス決済、株式やNISAなどの投資、金融に関する詐欺行為など、児童生徒が社会に出ていく上で、金融に関する正しい知識と考え方を持つことは今後大切な要素であり、金融教育の効果を期待しているところです。</p>
<p>9月13日の悪天候により、本市も暴風警報が発表され、最大瞬間風速は市内で24.8m/sを記録した模様で、道路や公園の倒木、民家の窓割れ、壁や屋根飛散のおそれなどの被害があったようです。敷地内の倒木や枝が折れるといった被害を受けた小中学校もありました。また、翌週の9月20日から21日にかけても、大雨・暴風・洪水警報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報が発表され、道路の冠水、民家の浸水、倒木などの被害もありましたが、幸いにも小中学校関係は特に被害はありませんでした。市全体でも人的被害がなく、安堵したところですが、今回は北海道初の線状降水帯が発生するなど、地球温暖化の影響と思われる異常気象が年々顕著に現れていると感じております。</p>
<p>9月19日、千歳市の中学校教諭が児童盗撮画像をSNS上のグループで共有していた関連で逮捕されたことを受け、北海道教育委員会による緊急不祥事防止対策会議がオンラインで開催されました。会議では、学校施設内のカメラ設置の緊急点検とそ</p>

の後の継続した点検の実施、端末・スマートフォンの取り扱いに関する研修を実施し、指導を徹底することについて要請がありました。今回の事件は、児童生徒や保護者にとって「学校の信頼性」を大きく損ねてしまう出来事であり、我々市教委としても、教育公務員としての倫理と自覚を持つよう指導を徹底するとともに、盗撮等を未然に防ぐルール作りとその徹底に早急に取り組んでいきたいと考えております。

同日の9月19日、令和7年度第58回北海道公立学校教頭会研究大会日高大会開会式が市民会館で開催され、出席してまいりました。道内各地から約700名の教頭先生が参加されましたが、学校運営の中核を担う教頭先生方が研鑽を積まれ、今後益々活躍されることを期待したいと思います。

生涯学習関係では、8月29日、第49回アイビーサークルまつり開会式並びに親睦交流会に出席し、サークルまつりのご盛会を祈念して挨拶を申し上げてまいりました。8月30日に札幌親子しおさいコンサートが市民会館大ホールで開催され、小中学生と保護者など約650名が参加しました。今回は例年と比較して、指揮者体験に子供たちが積極的に参加するなど、非常に元気な姿が印象的でした。科学センターにおいては9月6日に青少年のための科学の祭典、9月20日に第60回苫小牧市小中学生発明工夫展並びに第55回苫小牧市小中学生理科展表彰式が開催され、子供たちが興味津々に取り組んでおりました。そして、9月20日から美術博物館において企画展「苫小牧の文化財～ひととものがつなぐ歴史～」がスタートしました。昭和30年に本市の文化財保護条例が制定されて今年で70年を迎えたことから、本市の指定文化財の紹介や文化財保護の歴史などを振り返る内容となっておりますので、多くの市民の皆様にご覧いただくことを期待しているところでございます。

最後に、今月は多くの小学校で修学旅行、中学校では学校祭や文化祭が実施されております。事故などもなく、無事に終了し、子供たちが充実した時間を過ごすことを願っている次第です。

私からの報告は以上でございますが、何かご質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 苫小牧市立小・中学校 通学区域一覧表の改正について

(学校教育課長) ー苫小牧市立小・中学校 通学区域一覧表の改正について説明ー

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(山本教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することによろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは議案第1号は原案どおり決定いたしました。

6 報告・協議

報告(1) 津波警報に係る避難所運営について

(教育部斎藤次長) ー津波警報に係る避難所運営について説明ー

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(佐藤委員) 2点ほど教えていただきたいです。さまざまな方からのご意見や要望に対して、よくお考えいただいてまとめてくださったなと思います。市教委の考えとして、伝わるようにしていきたいなというふうに思いました。

<p>各学校からのご意見・要望の中の14番ですね。「運営・その他」の4番のところ</p>
<p>ですが、保健所の方の対応場所として教室を用意した学校があるようですが、避難所</p>
<p>になっているところを保健所の方は手分けして回っていらっしゃるということですか。</p>
<p>(教育部斎藤次長) 詳細まで確認できていないのですが、若草小学校は近くの保健</p>
<p>所の方が避難に来たという情報が入っておりまして、そこから各学校を回ったという</p>
<p>ことではなく、多分、情報収集のために別室を貸していたということだと押さえてお</p>
<p>ります。</p>
<p>(佐藤委員) もしもこれがあつたら、避難所に行くだけでも大変なのに、保健所の</p>
<p>方の仕事も増えて、またそれに対応する側も考えていかなければならないことなのか</p>
<p>なと思いました。そうなると、長期にわたった場合なども大変な準備をしなければな</p>
<p>らないのではないかと疑問に思ったので考えました。</p>
<p>それと避難所の過ごし方は、短期と長期によってそれぞれもちろん違ってくるとは</p>
<p>思いますが、学校の規模も影響すると思います。今回は南の人たちが避難するように</p>
<p>という指示があつたので、一斉に緑ヶ丘公園の方に行って、私も近くだったので見て</p>
<p>いたのですが、やはりすぐに渋滞が始まるのと、ガソリンスタンドに列ができるとい</p>
<p>うところは、さまざまな災害の場面と同じだと思います。長期と短期で対応できれば</p>
<p>いいと思いますが、それぞれマニュアルを準備しなければいけないと感じました。</p>
<p>そこで市民の方々に対するご意見がありますね。18番ですが、さまざまな意見が</p>
<p>出て、それに対して教育委員会としての意見をまとめていらっしゃるのので、市教委が</p>
<p>どのように考えているのかが分かる機会があればいいなと思っておりますが、そういう</p>
<p>のは難しいでしょうか。</p>
<p>(教育部斎藤次長) この資料は、避難所を開設した小中学校からの生の声というこ</p>
<p>とで、取りまとめていただいたものです。市の方では、市民アンケートなども含めて、</p>
<p>全体の整理をしているところです。市民への周知については、市の方で今後きちんと</p>
<p>整理していくものと考えておりますので、市教委として市民にこれを発信することに</p>
<p>はなりません。</p>

<p>ただ、学校と防災訓練や地域の方々とのコミュニティスクールなどでつながっておりますので、学校にまず把握していただき、その中で地域とも協議していただければと思います。</p>
<p>(佐藤委員) いろいろな方のアンケートやご意見というのは、やっぱり直接体験した後、その時のご意見ですから、非常に重要なものだと思います。それをまとめて答えてくださっているのので、内容をどこかできちんと知らせることができたらいいなと思ひまして伺いました。</p>
<p>(山本教育長) ほかにございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(山本教育長) それでは、報告第1号の質疑を終結いたします。</p>
<p>報告(2) 都市教育委員会連絡協議会定期総会(分散会)について</p>
<p>(山本教育長) 委員の皆さまには、8月21日に稚内市で開催された都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加していただきましたが、その分散会で「ふるさとの特色を生かし、地域に根差した教育活動の推進」をテーマに各市の取組や課題について意見交換をしていただきました。</p>
<p>各グループでどのような意見が交わされたか、その感想などご発言いただきたいと思ひます。それでは佐藤委員からお願いしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(佐藤委員) まず一言で言いますと、市町村の合併による影響が非常に強く、地域的・地理的条件によって随分と困っていることが多くなったということが一つありました。</p>
<p>私は札幌市、江別市と同じ班で、比較的恵まれているところの委員からはご意見がなかったのですが、例えば東西に長いとか広がっていて、なおかつあまり人口が多く</p>

<p>ないところの委員の方々は、地理的な差や、特にクラブ活動を地域に移すときの不自 由さなど、苫小牧の場合と比較して話が進みました。</p>
<p>教育委員会で用意してくださった現状と今後の方向性は、報告して説明いたします と非常に羨ましがられました。それから地域差、地区への対応、財政の問題なども含 めて、他のところの相談を受けたような形になっておりまして、私は用意してくだ さった資料で非常に楽をさせていただきました。ありがとうございます。</p>
<p>(山本教育長) 齋藤委員お願いいたします。</p>
<p>(齋藤委員) 分散会ではそれぞれの町の特徴に応じたふるさと教育をご紹介いただ き、大変参考になりました。</p>
<p>特に興味深かったのが、三笠市の小学校3年生からあえて「地域科」という科目を 設定し、子供たちの地元への興味・関心を引く取組を行っている点です。ジオパーク の学習発表や、北海盆踊りが盛んなところですので、北海盆踊りを学んで子供たちが 実践しているとのことでした。また、アンモナイトの化石がたくさん取れる地区だそ うで、化石のクリーニング体験なども行われているとのことでした。面白い取組をたく さんされていて、本当に興味が持てました。</p>
<p>また、小樽市においては地域を学ぶための社会科副読本について、苫小牧市にも 「のびゆく苫小牧」がありますが、そのみならず理科用、歴史用とで全部で3冊の 副読本を活用しているというお話を聞きまして、ふるさと教育に対する熱意を感じま した。本市についても港湾都市として行っているみなとの授業、ゼロカーボンのス クールチャレンジ宣言や「のびゆく苫小牧」の紹介、地域の人材を生かした体験学習 について説明を行い、他の委員からも関心を持っていただきました。</p>
<p>活発な意見交換が行われ、分散会の終盤や懇親会では今回のテーマを超えて、どの 町でもやはり共通の問題となっている部活動の地域移行や不登校問題についても意見 交換を行うことができ、大変有意義な時間を持つことができました。</p>
<p>(山本教育長) 岡田委員お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 分散会では、「ふるさとの特色を生かし、地域に根差した教育活動の</p>

<p>推進」をテーマとして協議いたしました。</p>
<p>その中で美唄市は、基幹産業の農業に着目して、農業科という科目として教科書を作成・活用し、一つの科目として子供たちが学習しているという報告がありました。</p>
<p>苫小牧では、小学3、4年生の学年用の副読本として「のびゆく苫小牧」として苫小牧について学習する機会がありますが、美唄市では、小学校6年間、中学校3年間の9年間に美唄について学ぶ各学年の目標、学習テーマが計画され、「生活科及び総合的な学習の時間」の中で計画的に学習するということでした。</p>
<p>分散会では、各市の委員の方から、それぞれの地域の産業、歴史などの特色を生かして教育活動が行われているとの報告がありましたが、子供達が地域の職業を体験することにより、将来の定住につなげるという点までを明確に念頭に置いている教育を推進しているところもあり、その点は地域差があることを感じました。</p>
<p>私は、「ふるさとの特色を生かして地域に根付いた教育活動の推進」ということを考えますと、例えば英語であれば、中学を卒業する時には英語で、苫小牧市について苫小牧はどんな街か、どんな魅力のある街かを英語で紹介できる英語力を身につけること、国語でも同じように「魅力のある苫小牧」を紹介できる会話力を身につけることが、将来どこかで自己紹介する機会がある時に、堂々と話せるようになることが必ず役に立つのではないかと思います。卒業した子供たちがいろいろなところで苫小牧の宣伝をしてくれることにもなりますし、苫小牧のイメージアップにつながるものと考えております。</p>
<p>また、分散会に先立ちまして、石狩市の佐々木教育長から「ふるさとで学び手を差し伸べる教育を目指して」との演題で事例の発表がありました。石狩市は、石狩湾新港を中心とした産業の拠点を目指しているとのことであり、港を地域の重要な産業の中核としている点では、苫小牧市と石狩市には共通するものがあります。石狩市は、洋上風力、太陽光などの再生エネルギー産業を中核産業と位置づけ、風車から発生する電気を市内の小中学校へ供給して地産地活を図っているという報告がありました。</p>
<p>また、市の職員が小中学校に出前講座で石狩市の環境プロジェクトを紹介し、児</p>

<p>童・生徒が自らのこととして関心を持ち、「環境」をテーマに調べ、学習し、プレゼンソフトで研究内容を発表するという授業が行われているとの報告がありました。</p>
<p>苫小牧市でも、職員のゼロカーボン推進の環境に関する出前講座が行われておりますが、その他、苫小牧市の街づくりの一つに「福祉のまち」を掲げて、地域福祉計画が策定されております。「支えあい、助け合いながら共に暮らせるまちづくり」として、住みよい街づくり、地域の福祉を市民の皆さんが我がこととしてとらえていただくという取組がなされていますが、そのような福祉の街づくり「ともに支え合い、助け合う」街づくりを児童・生徒に学んでもらうことも考えられるのではないかと感じました。以上です。</p>
<p>(山本教育長) 最後に私の方からお話しさせていただきます。私のグループは苫小牧も含めて、全部で7つの市で構成されるグループでした。</p>
<p>まず、本市でもそうですけれども、子供たち用の社会科の副読本を活用しているところが多くて、その中でも非常に参考になるなど思ったのが、岩見沢市が副読本をデジタル版にしているそうです。令和5年度から運用を開始していて、中にリンクを貼れるようにして、リンクをたどればまた深掘りした内容が確認できるような活用の仕方ということです。電子版というのも今賛否両論ありますけれども、子供たちの学習を深めるという意味では有効な活用の仕方なのかなというふうに思っています。</p>
<p>あと北斗市では、もう10年ぐらいやっているそうですが、「北斗学ジュニア検定」というもので、副読本の中身で検定を行うそうです。問題が50問くらいあるらしいですが、取れた点数によって満点だと博士号が認定され、1級から5級まで点数によって割り振られているそうです。小学校3年生から6年生を対象に行っているということでした。副読本の中身をもっと子供たちに覚えてもらい、理解してもらおうという点では、非常に面白い取組だと思っています。</p>
<p>あと非常に印象的だったのは開催者の稚内市です。ふるさとに学ぶ産業教育ということで、学校は宗谷中学校を例にお話しされていました。宗谷中学校というのは、宗</p>

谷岬のちょっと南側にあります。漁業が中心の地区のようですが、ふるさとにも産業教育として水産学習を取り入れ、総合的な学習の時間に位置づけし、体験活動として調査・研究を行う教育を実施していました。

中学生対象なのですが、まず中学校1年生については「漁労」という、漁業の「漁」に労働の「労」ですね。「漁労」ということをテーマに、まずは自分の両親の姿から漁業に関する課題を見つけてもらうというのを1年生に取り組みせるということです。2年生になると、漁業に関する製造・加工に関するテーマで体験をしてもらうため、実際に生徒に燻製の製造や加工に携わってもらいます。3年生になると、今度は販売をテーマに生み出された加工品などをどのように販売していくかということで、地域のPRを体験してもらうということで取り組んでいるそうです。

これが功を奏して、子供たちが学校を卒業してから、漁業を継ぐ者として地区に戻ってきて家庭を築き、子供が新たに生まれ、人口が少し増えているという話がありました。こういった将来的な地区の漁業をどうしていくかということでテーマを組んで、子供たちに一貫したふるさと教育を行っているというのは非常に功を奏しており、効果的な取組なのだろうと思って聞いておりました。

どの市もやはりその地域の特性を生かしたふるさと教育ということを行っておりまして、苫小牧においても、どんなふるさと教育を行ったらよいのかという意味では非常に参考になった分散会でした。私からは以上です。

(佐藤委員) ちょっと追加して申し上げます。合併地域の問題は小さな町では似たような問題がありますので、あえてどの町ということは控えさせていただきたいと思いますが、苫小牧市からすると、こういう活動があると良いなと思ったのは江別市です。

札幌学院、酪農、北翔という大学があるので、非常に文化的な活動が市民との間でできるということで、その中で、大学のボランティア活動に市民の方が参加するという事例がありました。それ自体よりもその費用をどうするかということが課題になっていて、なかなか満足のいく運営ができていないということでした。それに対し

て地域・地理的な問題がある町の委員との意見交換というのは非常に難しかったため、事例報告で終わっていました。

それからもう一つ札幌ですが、地域に根差した教育の一つとして、K i t a r a を持っているため、小学校5年生全員が演奏会を聞く機会があるという話がありました。それについては他の都市の方から憧れのような反応もあったのですが、では、財政はどうするのかと私が聞きましたところ、教育委員会ではなく、文化財政部というところで財政を管理しているため、実現できるということでした。

他の都市の委員会の方も、そこまで大々的にはできないけれど、自分たちも何かみんなで一つのことを経験するようなことができればいいという意見も出ておりました。少し具体的な部分が先程足りませんでしたので、補足させていただきました。

(山本教育長) ほかにございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、報告第2号については終結をいたします。いただいたご意見を参考に、事務局にはふるさと教育のさらなる推進を図るようお願いをしたいと思います。

報告(3) 教職員の事故に関する処分について

報告(4) 教育委員会職員の人事異動に係る協議について

報告(5) 令和8年度教育費予算(概算要求)について

(山本教育長) 次に、報告第3号から第5号についてですが、報告第3号、第4号については、人事案件であること、第5号については、令和8年度予算についてであり、現時点で公開することは適切でないと考えられますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に質疑を行いたいと思いま

すが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは報告第3号から第5号を秘密会とすることに決定いたしました。

協議(1) 苫小牧市立学校再編ビジョンの策定について

(山本教育長) 次に、協議第1号についてですが、検討中の内容であり現時点で公開することは適切でないと考えられますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の最後に質疑を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは協議第1号を秘密会とすることに決定いたしました。

これより、秘密会と決定しました報告第3号から第5号、協議第1号について議題といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

7 その他

(山本教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（山本教育長）・・・16時08分